

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号	09 02 07	中期総合計画主要施策番号	2-03	担当課	部・課	農政部農業政策課農産物マーケティング室
事業名	信州のおいしい牛肉認定事業			内線	3026	
				E-mail	marketing@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	現行の牛肉の規格に、「おいしさ成分」といわれている不飽和脂肪酸の含有量など、新たな項目を加えた長野県独自の基準を設定し、この基準で認定した牛肉を食味成分の高い牛肉として県内のホテル、旅館、レストランなどに提供することで、信州産牛肉のブランド力を高める。				
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] 信州産牛肉のブランドとしての認知度は高いといえず、県内流通量も少ない。				
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] ・信州産牛肉の一般消費者、飲食店関係者の認知度はまだまだ低い。 ・ブランド化による食材の優位性が確立していないため、生産者の生産意欲に今一つ盛り上がりを欠く。 [課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] ・長野県産の牛肉は、品質的に他県のブランドに優るとも劣らないが、全国的に、また県内でも長野県が牛肉の産地であることを知られていない。 ・新たな認定制度・名称を創設することにより、県産牛肉のブランド化を図る。 ・積極的な情報提供による信州産牛肉の認知度の向上を図る必要がある。 ・ブランドイメージ向上のため、有名料理店への売り込みを図る必要がある。				
	事業内容	(1)認定基準及び名称の設定(認定基準・認定牛肉名称設定委員会の開催、商標登録及び認定マークデザインの設定) (2)脂肪酸測定装置の導入 (3)認定制度等のPR(リーフレット作成等)				
実施期間	H20 ~	根拠法令等	長野県食と農業農村振興計画			
成果と達成状況	事業の目指す成果	達成度(期待どおり)の判定基準(H20)		達成状況		評価
	信州産牛肉の認知度を高め、長野県を訪れる観光客にアピールできる食材の生産、普及を図る。	・認定基準、名称を設定すること。 ・脂肪酸測定装置の導入を図ること。 ・PRイベントを開催すること。(1回:300人規模)		・平成20年6月に検討委員会を立ち上げ、平成21年3月に認定基準及び名称について決定した。 ・平成21年1月に脂肪酸測定装置を導入した。 ・平成21年3月に「信州プレミアム牛肉」お披露目会を開催した。(327人出席)		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下
事業コスト	区分	単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要
	最終予算額 (A)	千円		3,854	2,956	国庫・県単 国庫・県単
	決算額 (B)	千円		3,473	-	実施方法 直接、委託
	B(H20はA)のうち一般財源	千円		2,240	1,722	歳出節別 報償費:330
	概算人件費	人		1.00	1.00	内訳等 旅費:191
	概算事業費 (B(H20はA)+C)	千円		10,622	10,105	(単位:千円) 需用費:273 役務費:211 備品購入費:2,468
事業実績	内容	単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績
	信州プレミアム牛肉を使用したプロモーション	回		1	1	
事業の課題	区分	判定・説明				
	事業のニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 ・認定制度創設に伴い、今後、認知度向上の取組が求められている。 ・制度の認知度の向上が図られるまで、一定期間の行政の関与は必要である。 ・制度・認定品の認知度向上のため、メーカー等と協力した効果的なPR活動が必要である。	
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	有効性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	効率性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
課題の総括	おいしい牛肉の認定基準・名称について決定したため、今後は、制度及び牛肉の認知度向上とブランドイメージの向上を図る取組を行う必要性がある。					